

平成 28 年度第 2 回 内灘町子ども・子育て会議 議事録（要旨）

日 時	平成 29 年 3 月 15 日（水）14：00～15：00
場 所	内灘町役場 4 階 406・407 会議室
出席委員	北健一、番匠尚、表井美智恵、本弘美、西村美和、塩谷佑子、嶽彩子、松崎則代、 荒船眞由美
事 務 局	上島子育て支援課長、中川子育て支援課長補佐、廣瀬子育て支援センター総括主査、 岩船子育て支援センター事務補助

1. 委員長挨拶

2. 議件

(1) 幼稚園型認定子ども園誠美幼稚園の利用定員の変更について（資料 1）

※委員からの主な意見と事務局からの説明

（委 員）・利用定員を減らしたのはなぜか。

・定員オーバーになることはないのか。

（事務局）・定員によって子ども 1 人当たりの補助金額が変わり、定員が多いと 1 人当たりの補助金額単価が安くなるため、利用予定人数に合わせて定員を引き下げたかたちである。

・定員オーバーについては、入所人数が少ないため対応できる範囲であり問題ない。

(2) 平成 29 年度保育所等・学童保育の入所予定数について（資料 2）

※委員からの主な意見と事務局からの説明

（委 員）・千鳥台幼稚舎と白帆台保育園は定員を超えているがなぜか。

・資料を見る限り内灘町に待機児童はいないということによいだろうか。

（事務局）・国の基準で定員の 120% までなら施設の広さや設備・職員数などの要件を満たせば受入可能である。

・待機児童はいない。しかし、どうしても希望の保育園に預けたいということで育児休暇を延長する方もいる。

(3) その他

（委 員）・今年度、人権擁護委員まで子どもの相談がくることは 1 件もなかった。内灘町は保育園、保健センター等の対応がしっかりしているのだと感じる。これからもそのようにして行ってほしい。

・内灘町で夜間保育をしていることを先日知った。あまり公にはしていないのか。

（事務局）・夜間保育の実施の旨は、広報や子育て便利ブックなどに掲載しているが、わかりにくいということなので掲載方法を今後検討していく。